

授業科目 小児科学

【担当教員名】 永山 善久		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○		
【概要・一般目標：G10】 小児のリハビリテーション全般にわたる広範な知識を学ぶ。また、小児の疾患の特徴を理解し、小児理学療法を実施するうえで必要な最新の知識や情報を学び、障害を持つ子どもを支える治療技術と態度を養う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 小児のリハビリテーションについて学ぶ 2. 小児の発達について理解する 3. 周産期・新生児医療について理解し、障害の発生病理を理解する 4. ハイリスク新生児のケアについて学ぶ 5. 小児の疾患について学ぶ					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	小児のリハビリテーション概論、周産期医療からみた小児リハビリテーション			1	永山、他 / 講義
2	小児の発達（成長・発達）、脳の発生異常による障害			2 3	永山、他 / 講義
3	小児の発達障害、新生児期疾患と脳障害			3	永山、他 / 講義
4	ハイリスク新生児の評価と治療（1）			4	永山、他 / 講義
5	ハイリスク新生児の評価と治療（2）			4	永山、他 / 講義
6	治療学概論、生命倫理			5	永山、他 / 講義
7	軽度発達障害と小児リハビリテーション、染色体異常			5	永山、他 / 講義
8	まとめ			1～5	永山、他 / 講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 小児科学 第3版	奈良 勲、熊倉矩子	医学書院	2009・4,200円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、レポート作成などを併せて評価する。			【履修上の留意点】 復習により知識を定着させる。積極的に授業に参加し、発言する。		